

概要

地球にやさしいまち・経済・ライフスタイルを目指して 京都市地球温暖化対策計画 <2011～2020>

(想定) ☆: 時点修正箇所 ★: 見直し箇所

序章 環境共生と低炭素のまち・京都

1章 計画策定の背景

(1) 地球温暖化問題とは

★(2) 国際的動向

★(3) 国内の動向

2章 京都市の地球温暖化対策

★(1) これまでの経緯

(2) 旧計画の総括

★(3) 京都市における温室効果ガス排出量の状況

(4) 京都市の地域特性

3章 計画の基本的事項

(1) 位置付け

★(2) 他の関連計画との関係

(3) 計画期間・対象ガス・削減目標

4章 計画の特徴

(1) 6つの社会像の提示

(2) 各主体の役割

(3) 削減効果指標による施策の進行管理

(4) 戦略プロジェクトの推進

5章 計画で掲げる施策・ロードマップ

6章 計画の進行管理

(1) 推進体制

(2) 施策の進行管理

<2030 (平成42) 年度の低炭素社会像>

- 社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち
- 社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち
- 社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち
- 社会像4 環境にやさしいライフスタイル
- 社会像5 環境にやさしい経済活動
- 社会像6 ごみの減量

※ 社会像ごとに、目指すべき社会像の説明及び削減効果指標を提示

① 計画期間

2011 (平成23) 年度から2020 (平成32) 年度までの10年間

※ 社会経済情勢の変化などを踏まえて、5年を目途に見直しを検討する。

★② 削減目標

京都市域からの温室効果ガス排出量を、「2020 (平成32) 年度までに、1990 (平成2) 年度比で25%削減する。」

① 2030 (平成42) 年度の二酸化炭素将来推計 (バックカスティング方式)

★② 削減効果指標の設定

★③ 2020 (平成32) 年度の二酸化炭素将来推計 (フォアカスティング方式)

戦略Ⅰ 温室効果ガスを排出しない都市構造への転換

① 歩くまち・低炭素都市づくりプロジェクト

- ・ 「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進
- ・ 京都らしいエコ・コンパクトな都市づくりの推進
- ・ 森林の適切な保全と地域産木材の活用

戦略Ⅱ 環境と経済が融合する社会システムの構築

② グリーンエコノミー創出プロジェクト

- ★ グリーン・イノベーションの推進
- ★ スマート・コミュニティの構築
- ・ 環境価値の「見える化」

戦略Ⅲ 環境にやさしいライフスタイルへ

③ エコライフ・コミュニティ創出プロジェクト

- ★ 地域からのエコライフの発信
- ★ 新たなエコスタイルの提案
- ・ 循環型社会システムの構築

※ 各推進方針のもとに具体的施策(41)、そのもとに具体的取組(118)を掲載し、具体的取組ごとに10年の工程を設定

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

推進方針

- ・ 「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)
- ・ 「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)
- ・ 「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換)
- ・ エコカーへの転換

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

推進方針

- ・ 地域産木材の活用
- ・ 森林の適切な保全
- ・ 水と緑と風を生かしたまちづくり

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

★推進方針

- ★ 再生可能エネルギーの導入拡大
- ★ 地域におけるエネルギーマネジメント

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

推進方針

- ★ エコ生活の普及促進
- ★ 地域コミュニティにおけるエコ活動の促進
- ★ 環境に配慮した住宅の普及促進

社会像5 環境にやさしい経済活動

推進方針

- ★ 環境産業の振興・育成
- ★ 企業における低炭素化の促進
- ・ 環境価値の創出・循環

社会像6 ごみの減量

推進方針

- ・ そもそもごみを出さない
- ・ ごみは資源、可能な限りリサイクル
- ・ ごみは安全に処理して最大限活用